



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年2月15日

上場会社名 株式会社 ヤマシナ

(コード番号: 5955 大証第2部)

(URL <http://www.kk-yamashina.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 谷川 満

問合せ先責任者 役職名 総合企画部長

氏名 秋山 由光

TEL (075) 591-2131

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (一部簡便な方法を採用)

②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日~平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(記載金額は百万円未満を切り捨て表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年3月期第3四半期	5,405	(48.9)	△362	(-)	△197	(-)	△92	(-)
平成18年3月期第3四半期	3,630	(-)	—	(-)	—	(-)	—	(-)
(参考)平成18年3月期	5,377		△394		△527		△688	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
平成19年3月期第3四半期	△0 59	—
平成18年3月期第3四半期	—	—
(参考)平成18年3月期	△10 05	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。ただし、平成18年3月期第3四半期における売上高以外の項目につきましては、当第1四半期から開示を行っているため記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における我が国経済は、GDP速報値に現れておりますように個人消費、民間設備投資が前期比で増加し、輸出も好調であることから、引き続きプラス成長を維持しております。

このような状況の下、当グループの主力である「金属製品事業」におきましては、受注は堅調であるものの利益面において原材料費の価格転嫁、経費削減に時間を要しているために営業利益の確保に至ることができませんでした。また、保有している遊休資産、有価証券につきましては現在売却を進めており、当第3四半期において保有有価証券の一部につき売却益を計上しております。

「電線・ケーブル事業」におきましては、同じく受注は堅調でありますややはり原材料費の値上がり利益減少の要因となっております。

なお、電線・ケーブル事業を行っております三陽工業株式会社は前連結会計年度末より連結対象となっております。

その結果、売上高は54億5百万円、営業損失は3億6千2百万円、経常損失は1億9千7百万円、当期純損失は9千2百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年3月期第3四半期	11,819	8,452	71.5	53.96
平成18年3月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)平成18年3月期	12,185	8,620	70.8	55.05

- (注) 1. 当第1四半期より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」を適用しております。
従来の資本の部の合計に相当する金額は、8,452百万円であります。
2. 当第1四半期より開示しているため、前年同四半期は記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は前連結会計年度末と比較して3億6千5百万円減少し、118億1千9百万円となりました。これは主に流動資産の減少によるものであります。負債合計は前連結会計年度末と比較して1億9千6百万円減少し、33億6千7百万円となりました。これは主に固定負債の減少によるものであります。純資産は1億6千8百万円減少し、84億5千2百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものであります。

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

[業績予想に関する定性的情報等]

平成18年11月17日に業績予想を発表以降、以下の通り業績に影響を与える後発事象がありますが、現在、算定作業中であり、判明次第すみやかに公表いたします。

<後発事象>

- 平成18年11月24日発表 固定資産譲渡に伴う特別利益（平成19年3月）
- 平成19年1月25日発表 連結子会社清算に伴う特別損失（平成19年3月）
- 平成19年1月29日発表 投資有価証券売却益34百万円（平成18年12月～19年1月）
(3月末までに更に保有資産の売却を予定)

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

[添付資料]

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減	(参考) 平成18年3月期
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金	3,012,383	—	—	4,168,067
2 受取手形及び売掛金	2,089,926	—	—	1,563,735
3 たな卸資産	1,030,429	—	—	1,074,391
4 短期貸付金	160,000	—	—	330,000
5 その他	254,447	—	—	53,928
貸倒引当金	△4,714	—	—	△4,969
流動資産合計	6,542,472	—	—	7,185,152
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物及び構築物	376,858	—	—	359,155
(2) 機械装置及び運搬具	424,017	—	—	430,241
(3) 土地	3,209,304	—	—	3,216,004
(4) その他	126,278	—	—	55,502
有形固定資産合計	4,136,459	—	—	4,060,904
2 無形固定資産	56,324	—	—	36,693
3 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	956,561	—	—	716,282
(2) 破産債権、再生債権、更生債権 その他これらに準ずる債権	1,840,170	—	—	1,855,170
(3) その他	128,832	—	—	187,507
貸倒引当金	△1,841,120	—	—	△1,856,120
投資その他の資産合計	1,084,444	—	—	902,839
固定資産合計	5,277,228	—	—	5,000,437
資産合計	11,819,701	—	—	12,185,590

(注) 1. 当四半期より要約四半期連結貸借対照表の開示を行っているため、前年四半期については記載しておりません。
2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期末)	増 減	(参考) 平成 18 年 3 月期
(負債の部)				
I 流動負債				
1 支払手形及び買掛金	731,613	—	—	839,196
2 短期借入金	391,400	—	—	384,336
3 未払金	112,127	—	—	110,625
4 賞与引当金	38,531	—	—	73,620
5 その他	347,472	—	—	202,032
流動負債合計	1,621,144	—	—	1,609,811
II 固定負債				
1 長期借入金	—	—	—	5,000
2 繰延税金負債	257,510	—	—	255,266
3 再評価に係る繰延税金負債	955,145	—	—	878,639
4 退職給付引当金	432,805	—	—	600,011
5 負ののれん	92,973	—	—	—
6 連結調整勘定	—	—	—	185,946
7 リース資産減損勘定	8,090	—	—	29,988
固定負債合計	1,746,523	—	—	1,954,852
負債合計	3,367,668	—	—	3,564,663
(資本の部)				
I 資本金	—	—	—	3,900,400
II 資本剰余金	—	—	—	4,312,323
III 利益剰余金	—	—	—	△1,065,874
IV 土地再評価差額金	—	—	—	1,286,597
V その他有価証券評価差額金	—	—	—	188,239
VI 自己株式	—	—	—	△758
資本合計	—	—	—	8,620,926
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	—	—	12,185,590
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	3,900,400	—	—	—
2 資本剰余金	4,312,323	—	—	—
3 利益剰余金	△1,154,810	—	—	—
4 自己株式	△758	—	—	—
株主資本合計	7,057,154	—	—	—
II 評価・換算差額等				
1 土地再評価差額金	1,203,391	—	—	—
2 その他有価証券評価差額金	191,487	—	—	—
評価・換算差額等合計	1,394,878	—	—	—
純資産合計	8,452,033	—	—	—
負債及び純資産合計	11,819,701	—	—	—

(注) 1. 当四半期より要約四半期連結貸借対照表の開示を行っているため、前年四半期については記載しておりません。
2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期末)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期末)	増 減	(参考) 平成 18 年 3 月期
I 売上高	5,405,677	3,630,369	1,775,307	5,377,919
II 売上原価	4,793,589	—	—	4,659,445
売上総利益	612,088	—	—	718,473
III 販売費及び一般管理費	974,241	—	—	1,112,861
営業利益 (又は営業損失：△)	△362,153	—	—	△394,387
IV 営業外収益	183,675	—	—	120,718
V 営業外費用	18,578	—	—	253,583
経常利益 (又は経常損失：△)	△197,056	—	—	△527,252
VI 特別利益	146,730	—	—	32,661
VII 特別損失	31,673	—	—	58,349
税金等調整前四半期(当期)純利益 (又は税金等調整前四半期(当期) 純損失：△)	△82,000	—	—	△552,940
税金費用	10,972	—	—	135,542
四半期(当期)純利益 (又は四半期 (当期)純損失：△)	△92,973	—	—	△688,483

- (注) 1. 要約四半期連結損益計算書の売上高以外は当四半期から開示を行っているため、前年同四半期については記載していません。
2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期 (自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成 18 年 3 月 31 日残高	3,900,400	4,312,323	△1,065,874	△758	7,146,089
当四半期の変動額					
四半期純利益(または純損失)	—	—	△92,973	—	△92,973
土地再評価差額金取り崩し額	—	—	4,037	—	4,037
株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額)	—	—	—	—	—
当四半期の変動額合計	—	—	△88,935	—	△88,935
平成 18 年 12 月 31 日残高	3,900,400	4,312,323	△1,154,810	△758	7,057,154

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

	評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	土地再評価差額金	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計			
平成 18 年 3 月 31 日残高	1,286,597	188,239	1,474,836	—	—	8,620,926
当四半期の変動額						
四半期純利益(または純損失)	—	—	—	—	—	△92,973
土地再評価差額金取り崩し額	—	—	—	—	—	4,037
株主資本以外の項目の当四半期の変動額(純額)	△83,205	3,247	△79,958	—	—	△79,958
当四半期の変動額合計	△83,205	3,247	△79,958	—	—	△168,893
平成 18 年 12 月 31 日残高	1,203,391	191,487	1,394,878	—	—	8,452,033

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

4. その他の注記事項

継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況

当中間連結会計期間末の決算短信に記載した内容に大きな変更はありませんのでその記載を省略いたします。

以 上